

(電子メール施行)

農技第 1169号

令和 2年 7月 21日

各関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

病虫害発生予察防除情報第1号を發表します。ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウの誘殺数が急増しており、豆類・野菜類・花き類で今後の被害につながるおそれがあるので適切な防除指導をお願いします。

令和 2年度 病虫害発生予察防除情報 第 1号
ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウの防除対策について

- | | |
|--------|-------------------|
| 1 対象作物 | 豆類・野菜類・花き類 |
| 2 病虫害名 | ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ |
| 3 発生地域 | 県下全域 |

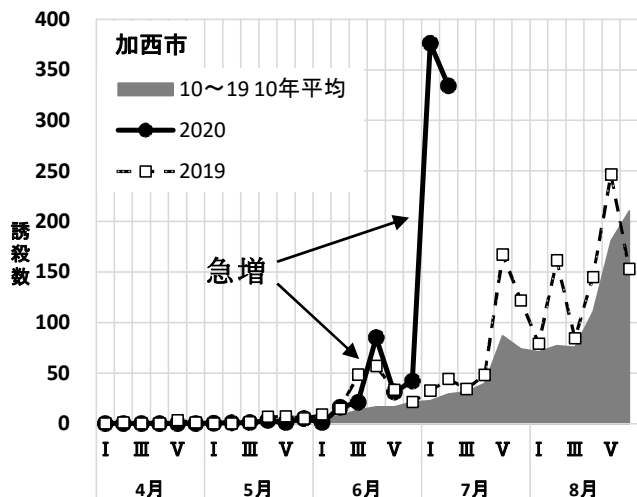
4 発生状況と今後の予想

- (1) 加西市と南あわじ市でのフェロモントラップ調査において、ハスモンヨトウとシロイチモジヨトウの成虫誘殺数が急増し、平年より多い状態が続いている(図1)。
- (2) 誘殺数が急増した時期は、加西市と南あわじ市で両種とも6月上旬と7月上旬で顕著で(図1)、地域に関係なく時期的にほぼ一致していることから、少なくとも2度、広域に飛来があったと推察される。
- (3) 圃場^{ほじょう}におけるハスモンヨトウ幼虫の発生は未確認であるが、シロイチモジヨトウ幼虫については、淡路地域のネギで5月以降に、加西市のキャベツでは6月に発生を確認している。
- (4) フェロモントラップへの誘殺数が急増し、平年より多い状態が続いていることから、今後、圃場で例年より早い時期に発生が多くなるおそれがあるので、注意が必要である。

5 防除対策について

- (1) 両種の加害作物は、ダイズ、インゲンなど豆類をはじめピーマン、ナスなどの野菜類、カーネーション、キクなどの花き類と広範囲におよぶ。
- (2) 卵塊や集団で食害する若齢幼虫(図2、3)を見つけたらすみやかに捕殺する。
- (3) 薬剤防除は中・老齢幼虫には効果が低くなるので、できるだけ若齢のうちに行う。
- (4) 成虫の産卵防止対策には防虫ネット(目合4mm以下)、黄色灯、性フェロモン剤(交信かく乱剤)の利用が有効である。
- (5) 防除薬剤については、兵庫県農薬情報システム^{*}を参考に選定し、農薬使用基準を遵守すること。

ハスモンヨトウ



シロイチモジヨトウ

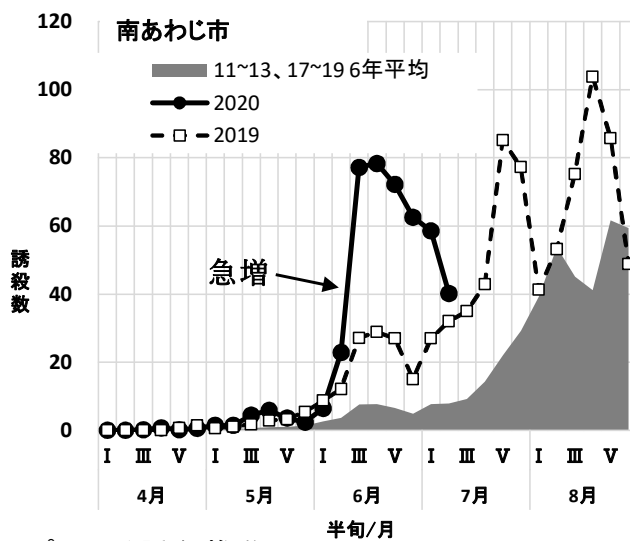
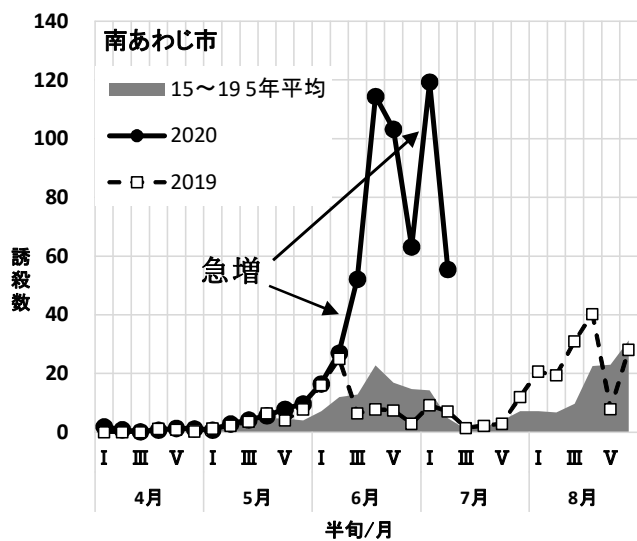
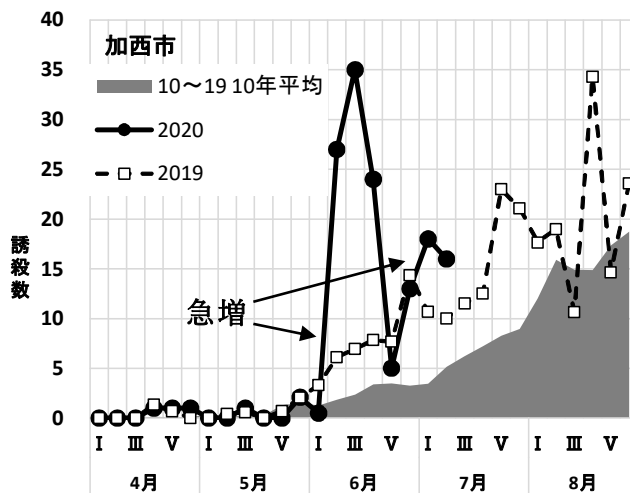


図1 フェロモントラップによる誘殺推移



図2 ハスモンヨトウ

初期食害葉 (左) と若齢幼虫 (右)



図3 シロイチモジヨトウ

卵塊 (左) と若齢幼虫 (右)

*この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載しています。

(<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/>)

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222